

参考資料一覧

石川県小松市

参考資料 1 ふるさとこまつを未来へつなぐ条例

- 〔関連項目〕 1.1 将来ビジョン-(2)2030 年のあるべき姿 (P.7)
1.3 推進体制-(1)各種計画への反映 (P.22)

参考資料 2 NEXT10 年ビジョン

- 〔関連項目〕 1.1 将来ビジョン-(2)2030 年のあるべき姿 (P.7)
1.3 推進体制-(1)各種計画への反映 (P.22)

ふるさとこまつを未来へつなぐ条例

～ PASS THE BATON ～

ふるさとかまつを未来へつなぐ条例

「子どもたちのため、まだ見ぬ次世代のため、残したい自然がある。
そして、伝えたい文化がある。」

私たちのふるさとかまつは、はるかに白山連峰を望み、その裾野には緑の里山が連なっています。白山や大日山からの一滴はやがて、木場潟をはじめとした水郷を創り出し、広大な加賀平野の大地を潤し、四季折々の美しい景観と多様な動植物の命を育み、日本海へと還っていきます。

この大自然の営みと恵みのもと、古からのものづくりと日本各地とをつなぐ交易により産業が栄え、このまちと人びとの暮らしは豊かになりました。

そして、産業の発展は、江戸時代から連綿と引き継がれてきた曳山子供歌舞伎に代表される町衆文化や伝統文化の華を咲かせ、ふるさとのあたたかい風土を育み、人びとの心に豊かさと潤いをもたらしました。

悠久の歴史のなか、その時代を生きる先人のふるさとへの想いと行動は、幾世にわたり、次の時代を生きる人びとに確かに伝えつなわれ、そして、ふるさとの未来は拓かれてきました。

私たちは、先人たちの想いをも受け継ぎ、このまちを守り育て、心の拠りどころであるふるさとかまつを未来へつなぎます。

目 的

第1条 この条例は、先人が守り培ってきたふるさとこまつが、こまつに関わりあいのある人びとにとって共通の尊い財産であることを認識するとともに、それらをつないできた人びとに大いに感謝し、受け継がれた自然環境や文化などを守り、発展させ、先人の努力の結晶であるふるさとこまつを未来へつないでいくことを目的とします。

定 義

第2条 この条例において、ふるさとこまつ（以下「ふるさと」という。）とは、大日山をはじめとした山々と森林、木場潟及び梯川等の水郷、そして、日本海などの「自然環境」、歴史と先人の努力の結晶として受け継がれてきた伝統的な風習や芸術、芸能などの「文化」、これら自然環境や文化により創り守られてきた美しい「景観」、ものづくりや自然の恵みで育まれる農林水産業のほか、ふるさとの発展を支える「産業」などのかけがえのない地域資源、そして、技術や想いを伝えつないできた「人」びとにより築き上げられてきたまちをいいます。

基本理念

第3条 基本理念は、次のとおりです。

- 1 豊かで恵まれた自然環境の保全と教育や交流などへの活用を進め、その両立をめざします。
- 2 受け継がれた文化を次世代に保存・継承するとともに、文化資源の価値と魅力を高め、交流の舞台に活かします。
- 3 ふるさとを支え続けている豊かな産業を、先人のように人と技術でたくましく発展させ、ふるさとの成長につなげます。
- 4 現在の課題を踏まえながら時代変化と社会変化を先取りし、未来志向に立った行動で、未来の人びとへふるさとをつなぎます。

行動指針

第4条 前条の基本理念に基づき、ふるさとを大切に想う市民や地域、事業者、教育機関、各種団体（以下「市関係団体」という。）、市議会及び市をはじめ、様々な団体及び個人それぞれがふるさとづくりの主体として互いに連携・協力し合い、次の行動指針に則り、共にふるさとの継承と未来創りを進めます。

- 1 ふるさとは人から人へつながれ発展してきました。ふるさとの魅力を伝え育む教育や多様な分野における担い手の育成など、未来を創るひとづくりに取り組みます。
- 2 先人たちの知恵や工夫を学びつつ、新しい技術や手法を研究し、取り入れながら、まちづくりを進めます。
- 3 様々な団体及び個人との連携や国内外の都市及び人びととの交流を広げ、共創のまちづくりを進めます。
- 4 各地域の文化や魅力を高め、担い手を育成し、特色ある地域づくりを進めます。

市及び市関係団体の役割

- 第5条 市は、第3条の基本理念及び前条の行動指針に基づくふるさとづくりの方向性を、基本構想やまちづくりビジョンに織り込むとともに、行動計画の策定、推進体制の整備等を通して、その実現をめざします。
- 2 市は、市民や市にゆかりのある人、国内外の多様な人びとの声に耳を傾けながら、ふるさとをより高い舞台に上げるため、未来を先取りし、共創の精神をもってPDCAを展開します。
 - 3 市関係団体は、ふるさとの発展に向けた自らの諸活動を、主体性をもって実践し、ふるさとの振興に寄与します。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

御製 第六十六回全国植樹祭

父君の蒔^まかれし木より作られし鋤を用ひてくろまつを植う

昭和五十八年に石川県で開催された第三十四回全国植樹祭の際、昭和天皇はスギの種子をお手蒔きになりました。本年（平成二十七年）五月の同県での全国植樹祭において、このスギの間伐材で作られた鋤をお使いになって、クロマツの苗木をお手植えになったことをお詠みになっています。

平成二十八年歌会始御歌 眞子内親王殿下

広がりし苔^{こけ}の緑のやはらかく人々のこめし思ひ伝はる

眞子内親王殿下は、昨年十一月にJCI世界会議金沢大会へご臨席のため石川県へお成りになり、その折に、小松市の日用苔^{ひようこけ}の里を訪ねられました。庭一面に広がる鮮やかな緑の苔^{こけ}をご覧になり、また、苔^{こけ}のやわらかさにふれられて、心を込めて苔^{こけ}の世話をしている人々の思いが伝わってくるように感じられたことを、このお歌にお詠みになりました。

（いずれも宮内庁発表資料より）

2015年、五月晴れのもと、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、古くからの水郷景観を今に伝える木場潟湖畔の公園を中心に、全国植樹祭が開催されました。

この植樹祭は、素晴らしい自然環境や文化を有するふるさとこまつが、幾世にわたり守り育まれ、先人たちの想いと努力の結晶として今につながれていることを私たちに教えてくれました。

今を生きる私たちが、このふるさとへの想いを確認し合い、次の時代、そしてまた次の時代に、ふるさとをつないでいくことが大切だと考えます。

条例の趣旨を分かりやすくした子ども版。

未来を担う子どもたちに、ふるさとの大切さを伝え、ふるさとを未来につなぎます。

わたし
私たちのふるさと、こまつ
す て き
こまつには素敵なところがたくさんあります
おばあちゃんやおじいちゃんより、もっともっとまえ
ちから まも そだ
みんなの力で守り育ててきたんだ

はな みどり い もの し ぜん
花や緑、生き物がいっぱいの自然
か ぶ き ねいろ たび
歌舞伎の音色があふれるお旅まつり
やま うみ おく もの
山と海からのおいしい贈り物
の もの で あ
たくさんのわくわくする乗り物に出会えるよ

わたし
私たちは「ふるさとこまつ」のいいところを
し ひと つた
いっぱい知って、たくさんの人に伝えます
まも たいせつ
みんなが守りつくりあげた大切な「ふるさとこまつ」を
わたし す て き
私たちがもっと素敵な「ふるさとこまつ」にしていきます

北陸の隣立ったまち「国際都市こまつ」



2015 ▶ 2025

みんなの笑顔いっぱいのまち

NEXT 10年ビジョン

小松市
KOMATSU CITY

「新たなライフスタイルへの変革」と「まちのブランド力向上」をめざして

I	メッセージ	1
II	10年ビジョンからNEXTへ	3
III	NEXT 10年後のこまつをデザイン	5
IV	2025 NEXT こまつ	7
	1 日本「おもしろい」まちに	7
	2 日本「たくましい」まちに	13
	3 日本「こちよい」まちに	17
	4 日本「はつらつ」としたひととまちに	21
V	10年後の素敵なこまつをめざして	25
VI	NEXTビジョンの主な目標値	25

I

こまつに恋するあなたとご家族へ

2025年、

先人たちが幾世にもわたり守り育み、
受け継がれてきた『ふるさとこまつ』は、豊かな産業と
四季折々の花々や清らかな水、豊かな緑につつまれています。

こまつと世界が近いグローバル時代。

航空機や新幹線が多くの異国の文化を運び、
ビジネスや観光、教育で交流し、
まちもひともしも活力あふれています。

伝統文化が息づくまちには、

デジタルやロボットなどの新しい技術が融合し、
若者もシニアも、女性も、

仕事と趣味で、大活躍しています。

こまつ未来予想図
『北陸の際立ったまち「国際都市こまつ」』



たくましい技術力が創り出す

「子ども科学技術都市こまつ」に、

世界から子どもたちが集まり、夢を描き、

みんなも笑みがこぼれます。

家族三代、四代、兄弟姉妹もいっぱい。

みんながはつらつと学び躍動し、

未来のふるさとの担い手となり、

こまつの力を高めていきます。

こまつに関わるすべてのひとがやさしさにつつまれ、

心の拠りどころとなり、永遠への想いをいただき続けるふるさと。

住むひと・訪れるひとにやさしく、素晴らしいまち。

そして、地球にもやさしい美しいまち。

そんな『みんなの笑顔いっぱいのふるさとこまつ』を、

ともに創り未来へつなぎます。

メッセージ - Message -

2011年に策定した10年ビジョンにより、「まちの新しい形とイメージアップ」をめざし、こまつの強みを「歌舞伎のまち・科学とひとづくり・乗りもののまち・環境王国こまつ」の4テーマに層別し、まちづくりを分かりやすく、そして、力強く進めてきました。オールこまつの市民力・地域力で、客観的評価や主観的満足度・幸福度も高まり、まちは着実に成長しています。心より感謝申し上げます。

2020年、東京オリンピック・パラリンピック開催、そして2023年には、いよいよ新幹線が小松にやってきます。グローバル化や技術革新、地方創生など、時代が変化するなか、すばらしい自然、食、文化に産業、地域の絆に恵まれたこまつは、国際色豊かに、もっと便利に、もっと元気になります。

これから10年の方向性を、「NEXT10年ビジョン」としてリニューアルし、まちづくりを次のステージに進めます。策定にあたっては、市民の皆様や市議会と、未来のこまつ創りを議論してまいりました。

3つのまちづくりコンセプトである日本一「おもしろい・たくましい・ここちよい」「まちに加え、「はつらつ」と躍動するひととまちをめざし、皆様とともに、ふるさとに恋し、ふるさと共創のパワーで取り組んでまいります。

2015年11月

小松市長 和田 慎司



10年ビジョンからNEXTへ

1 2011年、まちの新しい形とイメージアップをめざし、「10年ビジョン」を策定しました

○2015年の北陸新幹線金沢開業を見据え、目標を共有し、まちづくりを進めてきました

11月には、アクションプランを策定

■政策・制度のスピードアップ

■予算(税)の有効な使用

■市民の満足度・幸福度を追及

○まちの強みを4テーマに大別。まちづくりを展開、価値向上

(歌舞伎・科学とひとづくり・乗りもの・環境王国)

○地方創生の進め方を先取りしており、成果は着実に現れています

■産業力・人材力をアップ

■国際化進展、交流拡大

■市借金減少と固定費削減

■住みよさも向上してきました

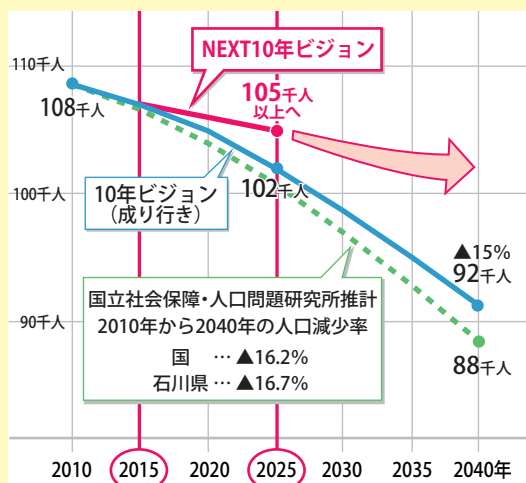
2 人口減少、超高齢化など、私たちの社会は大きく変化しています

○2040年には全人口の1/3以上が65歳以上に

介護や医療などの社会保障費は著しく、家族の負担も増大

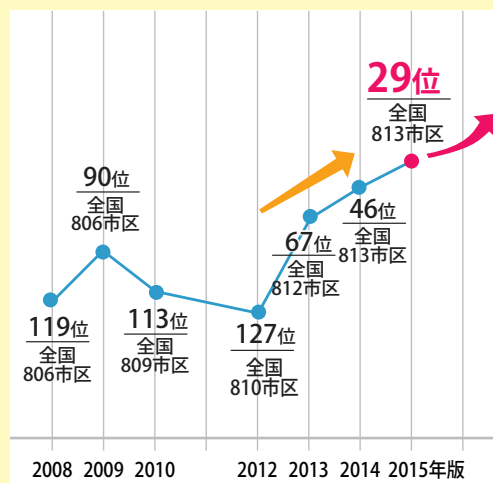
○人口減少のうえに年齢構成のひずみが、経済だけでなく、日本文化の保存や地域コミュニティの活力にも影響

人口の推移



【出典】国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所推計、小松市推計

住みよさランキング



【出典】東洋経済新報社 東洋経済別冊「都市データパック」



2011年6月「10年ビジョン」策定。地域の強みを活かしたまちづくりを展開



アクションプラン(2011~2014年度)策定。目標値を掲げ、ビジョンに政策と予算をリンクし、PDCAサイクルでスピードを上げて展開





第66回全国植樹祭(木場潟公園)

- このため人材育成、とくに科学教育が地域のパワーを決めていきます
- リニアにデジタルやロボットなど、日本が得意とする新しい技術も日々進化し続けます
- 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ライフスタイルを変化する転換期
- 天皇・皇后両陛下のご臨席を仰ぎ開催された全国植樹祭。みんなのふるさとへの想いが高まりました

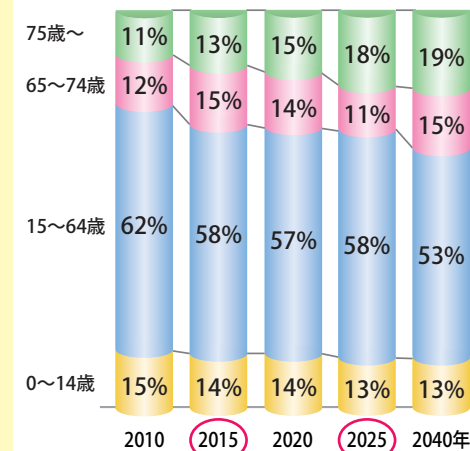
3 グローバル視点では、

大きなチャンスも待っています

- 異常気象による自然災害も。とくにインフラの保全も優先的な課題
- エネルギーや水などの資源確保は世界的な課題に。一方、ICTなど技術革新が大きく進化し、私たちの暮らしに役立たせることが大切です



成り行きでの年齢構成



【出典】国勢調査、小松市推計

1

北陸の際立ったまち「国際都市こまつ」をめざして

グローバル時代に、地方も国際化していきます。時代変化を先取りし、4つの視点と8つの都市像を掲げ、「新たなライフスタイルとまちのブランド力の向上」を

変革と成長しつづける

1

1 大交流時代の北陸の拠点として人びとが行き交います

2 小松文化と世界のハーモニーで感性豊かなまちが育まれます

アクセス向上。世界が広がる大交流。

○多くの人びとが集まる「おもしろく楽しいまち」へ

○グローバルな視点で、地域資源の価値を高め、新たな文化を創造

こちよい

新たなライフスタイルを楽しむ

3

5 予防先進を合言葉に地域一体となってこちよいくらしを楽しみます

6 里山・水辺に親しむ三世代の笑顔が小松の自慢です

超高齢化のなか、

○健康長寿、仕事や趣味でシニアが大活躍

○子どもたちの成長をサポート、三世代のくらしを楽しみます

ルネサンス

進化する科学技術が躍動する

2

3 昔も今もこれからも未来を拓く創造とサイエンスに富んだものづくりが小松市の象徴です

4 環境と共生するスマートなくらし方が日本中から評価されます

日々進化する新しい技術を活用し、○卓越した「たくましいものづくりのまち」に

イノベーション

○くらしもビジネスも、便利で快適。環境と共生する豊かなくらしを実現

はつらつ

チャレンジしつづける

4

7 意欲的に学習や地域貢献に取り組むはつらつとした人びとが世界でふるさとで輝きます

8 たくましい財政、市民から信頼される市役所が小松市の持続と発展をリードします
まちづくりはひとづくりから。まちづくりのベースはPDCA。

アクティブ

○ひとを育て、まちもひともはつらつ
○財政の健全化、機動的な市組織づくりなど、改革を継続実行

2

まちづくりを強力に進める
2つのエンジンは、
「共創」と「ひとづくり」

○全国植樹祭で示した市民力&地域の絆はこまつの大きな力

この力を活かした「共創」のまちづくりで未来を創ります

○日本が得意とする技術力、サービス力、市民力、地域の絆の源は、昔も今もこれからも、「ひとづくり」のチカラ
○この2つのエンジンのパワーと質をさらに高めていくことが重要です

3

地方創生。
さあ、高い志を持って、
未来のこまつを
共に創りましょう

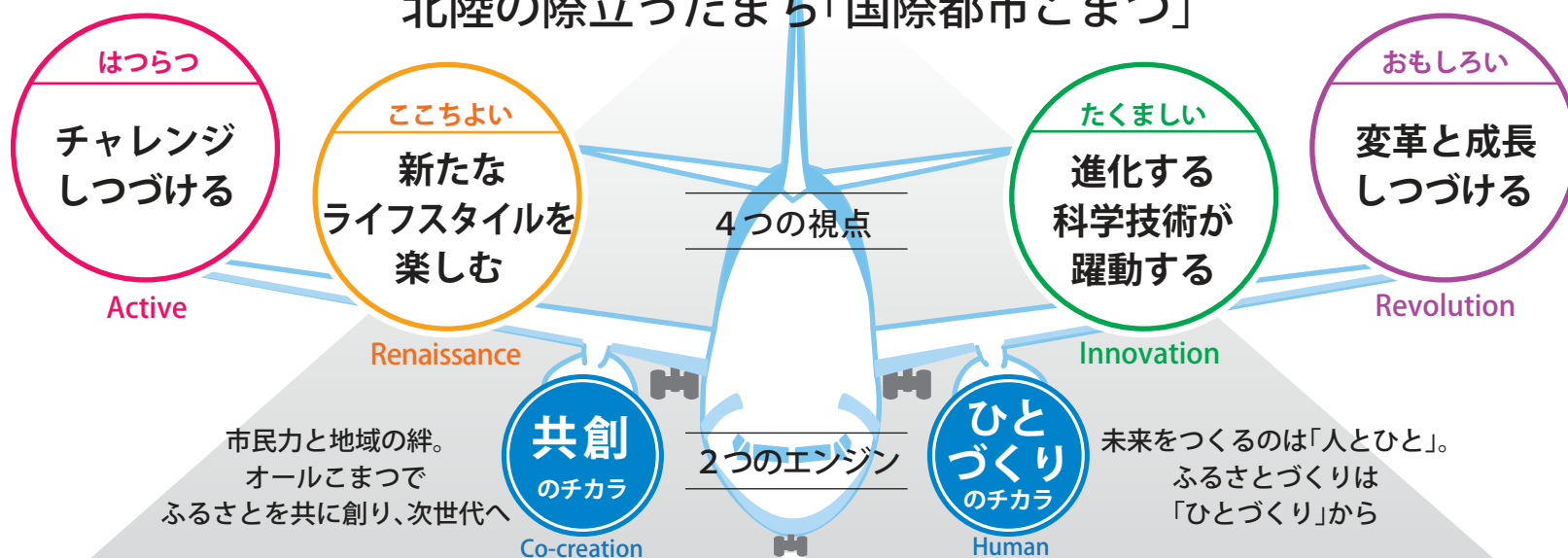
○地方自ら考え行動し、まちづくりを進めていくのが地方創生の本質です
○いつの時代も、先人たちは苦難を乗り越え、ふるさとを継承・発展させてきました

○「温故知新」先人から学び、みんなの知恵とアイデアを結集し、

○オールこまつで、進取の気性で勇気をもってチャレンジを

都市デザイン

北陸の際立ったまち「国際都市こまつ」



さあ、ワクワクする 2025年NEXTこまつへ
「未来へつなぎ、未来を拓き」ます



※名称およびイラストの一部は、決定しているものではありません。

日本一「たくましく、そして、やさしい」まちと人びと

北陸の際立ったまち「国際都市こまつ」

*Komatsu
Spirit & Movement!!*

レボリューション — Revolution —

1

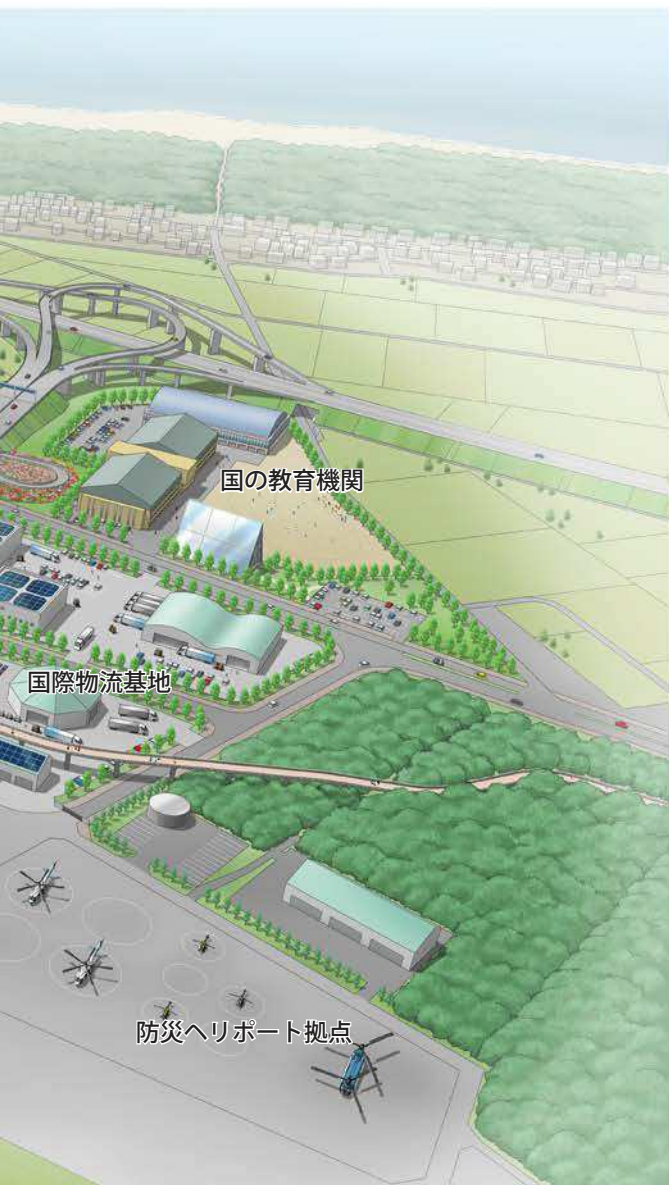
変革と成長しつづける
ひととまち

日本一「おもしろい」まちに

空、陸、海の大交流時代に、
高いアクセス力が活きる。
人材育成、ビジネス、観光でグローバルに対流し、
まちが新しい形に進化する

グローバル時代の主役。

世界とつながる北陸の国際ゲートウェイ



レボリューション – Revolution –

世界中に、日本中に、

- アジアのハブ空港とはデイリーで。国内空港とのエアラインも増加
- 24時間対応のターミナル
ワールドモールで異国文化を味わいます。
- ハイウェイとも直結。新幹線小松駅とは自動走行ビークルで連絡する快適なアクセス

空港周辺は面白いエリアに

- 国際物流基地化で、新しい産業も育ちます。
- インバウンド・アウトバウンドにスムーズに馴染めるよう国際スクールが併設

来て、観て、遊んで楽しい「スカイワールドゾーン」



Komatsu International Airport

美しい花と緑のなか、未来を創る「ひとと技術」が育つキャンパスゾーン



※新幹線小松駅のデザインは仮のものです。

空港と直結する北陸新幹線小松駅。
科学とひとづくりが際立つ、
全国から注目される駅東エリア



レボリューション - Revolution -



最先端ロボットが楽しいサイエンスヒルズ



サクセスルーム



○産業観光の拠点はもちろん最先端を学ぶサイエンスヒルズ、市民も学ぶ4年制大学や学習空間、企業の人材育成など学びの秀でたエリアに。

小松駅周辺は、みんなの夢を育む学びのエリア

○新幹線、在来線、バス、レンタカーなど、交通アクセスと公共交通が充実。通勤・通学、ビジネス、観光、研修など、南加賀のターミナルに。

○最新型の自習空間「サクセスルーム」で電車の待ち時間も有効に活用します。

○新幹線小松駅は、産業・文化のPR拠点。利用される人びとにもっともやさしい駅に。

小松駅は、駅東「未来タウン」と駅西「伝統のまち」をつなぐかけはし。人びとと文化が行き交う南加賀のターミナル



日本一「おもしろい」まちに

受け継がれた小松文化で彩られる小松駅西エリア

町衆の華、粋、人情が、
「こまつジャパン」として、
世界から評価されます



世界中を魅了するこまつの子もたちの熱演

○風情ある町家では、外国人がお茶、お花、和食など、日本文化を堪能します。

○勧進帳のふるさと「安宅」。古くは北前船で栄え、歴史を感じる街並みが美しく、「難関突破」のパワースポットに、全国から人びとが集います。

歌舞伎のまちのルーツ「安宅の関」



子どもから大人まで、歌舞伎の演者・演奏者

江戸から今に歴史をつなぐ「曳山子供歌舞伎」250年
子どもたちのお芝居が観る人びとを惹きつける



「Komatsu Japan」

安宅から川上に舟で進めば、
悠然と浮かぶ「小松天満宮」





日本、そして世界とつながる北陸のハブ
物流の進化で、人・物・文化はさらに対流

日本屈指の産業集積と 高速交通ネットワークで、広域の、 そして北陸の成長をリード

- こまつは、古くは2300年前の弥生文化、1500年前の古墳、加賀之國の国府も立地していた広域の拠点
- 物流もさらに進化。科学技術、人材育成、産業、医療、行政などの都市機能が拡充し、広域の発展の基幹アクセス
- 空港、新幹線、高速道路の集積が新たなビジネス・文化を創生します。

- 開創1300年、四季それぞれ美しい那谷寺。歴史あふれる南部エリアは、来訪者の心と体をいやします。
- 古代の王たちが愛した勾玉・管玉の石とロマンは、時を越え、国内外の人たちを魅了



2300年の古のロマン勾玉



- おくの細道ゆかりの寺社。芭蕉が詠んだ景色と人情が人びとの胸を打ちます。



- 歴史観光だけでなく、ものづくりビジネス、環境王国、高等教育の玄関口として、南部エリアの発展をリードします。

南部エリアの交通拠点「粟津駅」



イノベーション — Innovation —

2

進化する科学技術が
躍動するひととまち

日本「たくましい」まちに

こまつの未来を拓くのは、

創造とサイエンスに富んだものづくり。

豊かな自然環境のなか、新しい技術が広がり、

まちが変わる、くらしが変わる

日本でも秀でた「たくましいものづくり」のまちに



周辺ではトレイルランやノルディックウォーク

- 機械産業はさらに集積し、日本はもとより環太平洋地域を代表するクラスターが形成されます。
- 空港周辺では、世界に開かれた航空・輸出・物流産業が創出されます。
- 大学が行うCOCが、企業・市民団体の研究をリードします。

※COC(Center Of Community)：地(知)の拠点として、地域志向で教育・研究・地域貢献を進める大学



で、
争力が



活動



海外の「こまつもんショップ」



○起業・就業、そして、復職サポートが充実し、日本トップのワークライフバランスが実現します。



○医療や福祉などぐらしに寄り添ったあたたかいビジネスモデルが新たに展開されます。

○デザインやアートで、女性の感性・センスが活かされます。

○モバイルワークで、新しい働き方が広まり、また、産業の自動化・ICT化で、女性の活躍シーンが創出されます。

女性の活躍で、まちがやさしく、
明るく、そして美しく



世界を舞台に

「こまつブランド」が展開します

○白山・大日山の伏流水で育まれる農林水産物。世界的企業や大学とのプロジェクトで、ICT利活用やバイオマス活用が進み、たくましい農林水産業に展します。

○地産地消で培われた食ブランドは、外国の人たちからも高い評価を与えられます。

○伝統産業「九谷焼」。欧米の海外アートとのコラボで新しい価値を創り出し、マーケットは世界に広がります。

○産業技術力と乗りもの、石文化、伝統工芸の技、美味しい食など、こまつが得意とする「先進の産業観光」が人びとを魅せます。

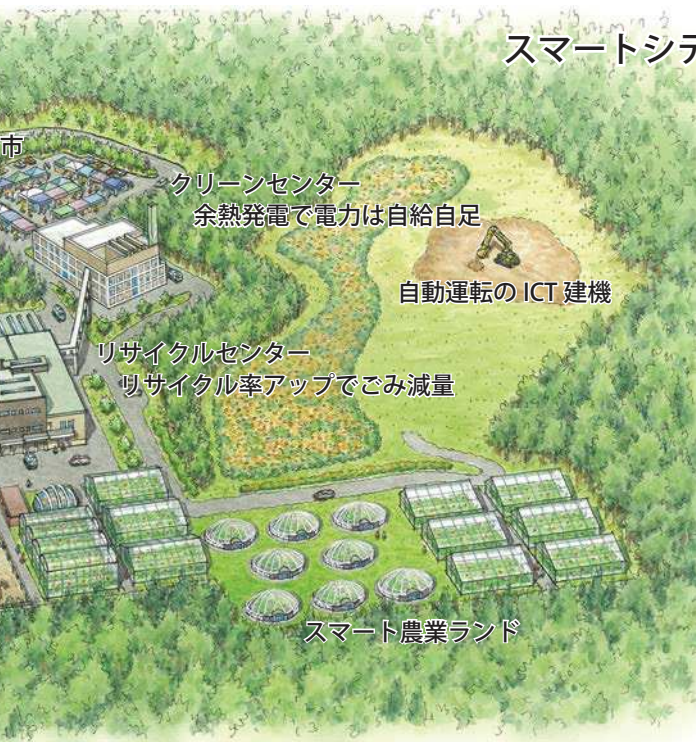


3D技術・ロボット・ICT産業が高度化・効率化し、競争力的に高まります。



サイエンスヒルズでは企業プレゼンや大学のCOC

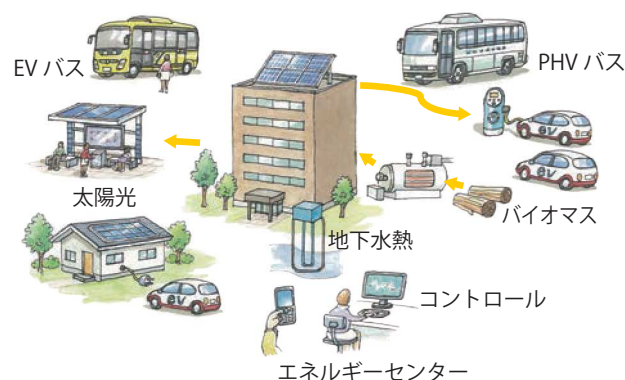
スマートシティの実践拠点「エコロジーパークこまつ」



○ごみ焼却の余熱を利用した野菜の温室栽培、ICT栽培で、収穫量や収穫時期がコントロールされます。

○通年栽培・通年出荷が可能となり、スマートこまつ野菜が全国に流通します。

新エネルギー活用



バイオマス循環



○創エネ技術が、家庭や学校、オフィス、工場で活用され、CO₂排出も大幅に減少します。

○木質バイオマスの利用拡大で林業発展と森林保全を両立。治山・治水はもとより、美しい里山・奥山の風景も守られます。

○豊かな自然と技術が調和し、次世代に環境が引き継がれます。



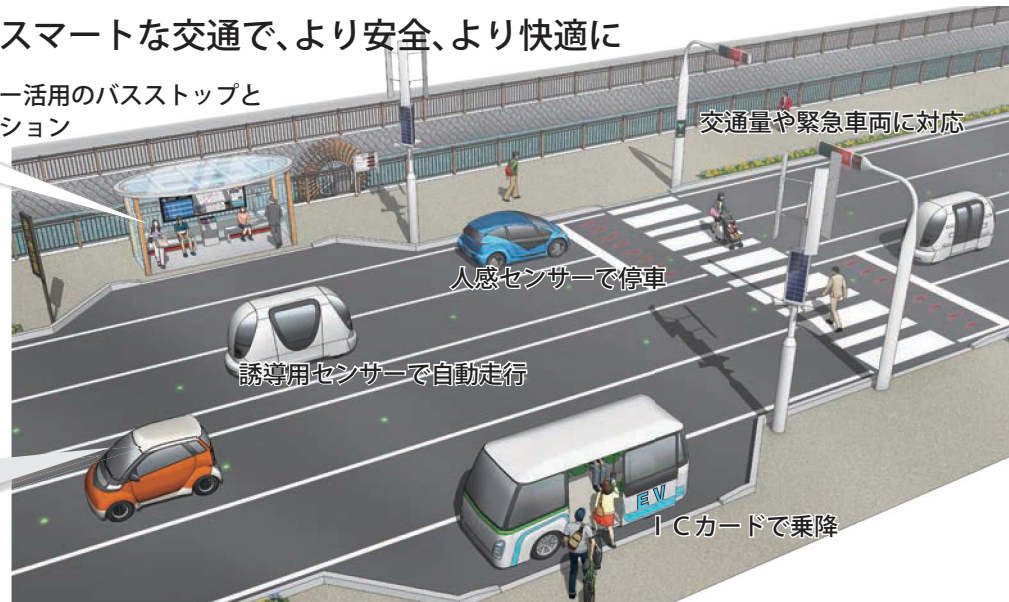


自然エネルギー活用のバスストップと
インフォメーション



自動でドライブ・ナビゲーション・事故防止

スマートな交通で、より安全、より快適に



スマート会議

ビジネス

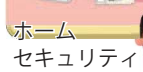


らくらく乗り降り

トラベル



自動翻訳・案内



ホーム
セキュリティ



暮らし



ネットショッピング



GPS 見守り

多機能カード



図書館



受付
メディカル

予防・健康



子育て



電子母子手帳

○買い物、病院、旅行、子育てなど、くらしの
シーンはキャッシュレス・ペーパーレス
○ウェアラブル型で健康管理や見守りも
バッチリ

ICT(情報通信技術)がまちに広がり、夢を広げる
もっと便利、もっと安心、もっと楽しいスマートエンジョイライフ



温泉客が朝採れトマトで
リフレッシュ



1枚のカードやタブレットが新しいライフスタイルを創り出す

ルネサンス

— Renaissance —

3

新たなライフスタイルを
楽しむひととまち

日本「いじちよい」まちに

予防先進を合言葉に、家族みんなが幸せな、
新しいくらしがはじまる。

恵まれた水辺や里山を楽しみ、
三世代の笑顔いっぱいのもちに

いきいきシニアの知恵と経験が生きる、健康長寿の全国モデルに

○温泉熱を利用した農園ではエコ
野菜を収穫します。

○エコ野菜は、ジビエや山菜など、
山の幸とともに、オシャレなレ
스토랑で提供されます。



シニアは仕事、趣味、

社会貢献で大活躍します

○美味しい食と健康づくり、疾病
予防で健康長寿。農業や観光、技
術指導など、仕事で活躍します。

○子どもたちの見守り活動はもち
ろん、思いやりとやさしさを教
える人生の達人です。

○地域の伝統文化を伝えるシニア
は、まちの博士。地域貢献を満喫
します。

自然豊かな里山に、シニアの予防活動拠点
テーマは「農林業・食・健康・仲間」



理を味わう



三世代・四世代がこころよい、「予防先進」のこまつ

○市民病院は、生活習慣病など予防保健の広域拠点として、全市民の健康をリードします。

○高度医療・救急医療でも拠点として、地域医療などとも結ばれ、切れ目ない医院・薬局・福祉施設などのネットワークが三世代のくらしを支えます。

○健康や福祉、医療、介護などの身近な相談窓口「地域健康福祉センター」が、家族や地域の安心を高めます。

地域の絆とやさしさで、家族みんなが安全安心

○河川改修などによるハードと、家庭・地域・企業・学校などが一体となったソフトの取り組み。この地域防災力が、いざという時、まちを防災・減災に導きます。

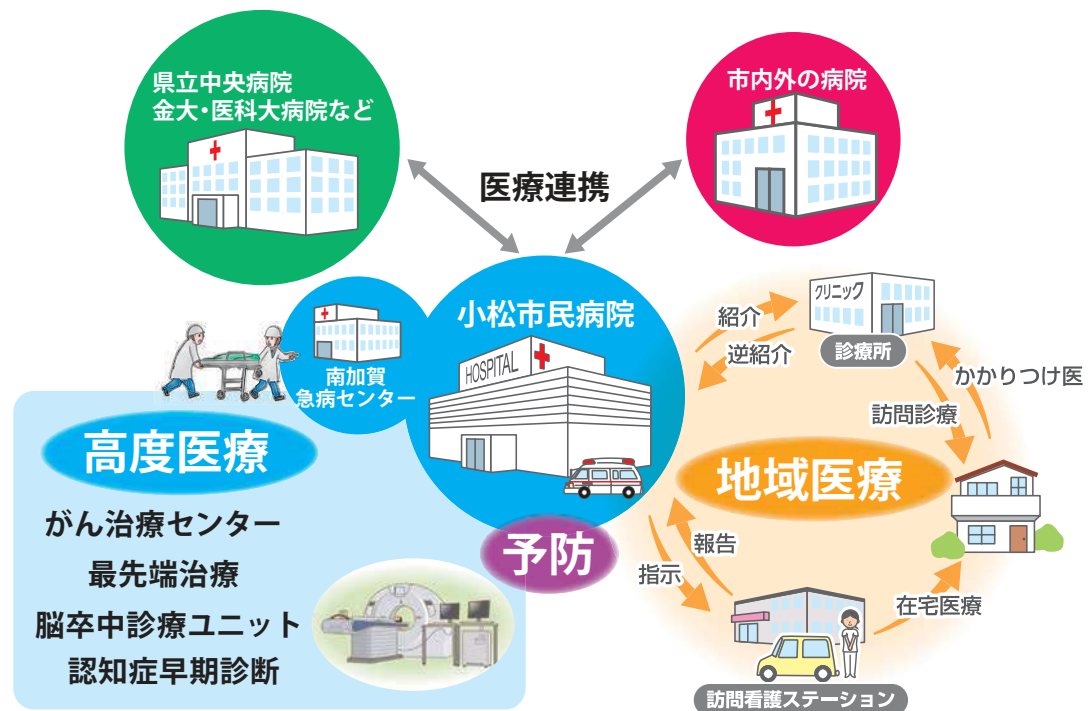
○思いやりとやさしさでみんながマナーアップ。ICT活用で、健康や在宅介護、そして、防犯、交通安全、火災予防もあんしん



地域とくらしを結ぶ交通機能が、家族のくらしを支えます

○在来線やバス、タクシー、レンタカーなど、交通機能が多様に、そして、充実し、くらしやビジネス、観光など、住む人や訪れる人の利便性が高まります。

○小松駅や交流拠点を中心に、公共交通が地域を結びます。また、地域力を活かし、独自で運行する交通機能も広がり、みんなのくらしを支えます。



ふるさと料



みんなで子宝を喜び、育み、子どもたちの笑い声があふれます

○妊娠から出産まで、地域や医療機関などまち全体がサポートし、新しい命をみんなで喜び合います。

○子育てや食育、発達など、子どもの成長に応じた日本トップの相談・サポート体制が、親子の絆を高めます。



○こまつは兄弟姉妹がいっぱい。豊かな自然や文化、そして、心あたたかい人びとに囲まれて、子どもたちははつらつと育ち、まちは、元気で明るい声が響きます。



美しい花の彩り、清らかな水辺、豊かな里山　く花・水・樹く
自然が織りなす風情と品格が、人びとの心を豊かに

○白山眺望駅から木場潟へ向かう彩り豊かなアプローチロード。その美しい道を、自動走行のEVバスが行き来します。

○湖畔のビューテラスに目を移せば、外国人カップルが幸せなウエディング。

○水郷木場潟は、北陸を代表する景勝地、日本の絶景の道100選での健康づくり、そして、環境教育の拠点として親しまれます。

○こまつは、川・湖・海、水辺の美観と親水空間の楽しさを合わせ持つウォーターフロントに。



日用苔の里

○木場潟から霊峰白山を望めば、その手前には、特色ある里山が南北に連なります。

○樹木や草花、昆虫などの自然資源、価値の高い石文化、鉱山などの産業資源。日本遺産に相応しいお宝がいっぱい。「環境王国こまつ」はネイチャーツアーの代名詞です。



野鳥舞う美しい木場潟と霊峰白山



霊峰白山に見守られてウェディング



○こまつの特徴を活かした森林
浴・星空浴で心身をいやします。
○苔の緑、杉の木立、古民家のハ
モニが美しい地域では、外国
人や大学関係者も集まり、自然
の中での学会や研究活動も展開
されます。

白山眺望駅は健康レクリエーションのメッカに。ミシュランガイドブックをもった国内外からの来訪者でにぎわいます。

アクティブ

— Active —

4

チャレンジしつづける
ひととまち

日本一はつらつとした
ひととまちに

たゆまない「ひとつづくり」がまちの未来を創る。
はつらつとした人びとが、
世界でふるさとで輝き躍動する

子どもたちは夢をもちビジョンを描き成長します

○幼児教育の中心は「こども園」。
自然・文化体験、工作、英語など、
子どもたちは、楽しみながら学
び育ちます。



実践的な飛行機の技術教室



一日中、英語で授業。
先生も間違えて
日本語を使ってた(笑)

家族みんなで、大人みたいな
お仕事体験。
お金の仕組みも勉強したよ。
将来は何になるのかな。

給食はキッズレストラン。
環境王国のお野菜、ホント
美味しいね。

今日は、飛行機ミュージアム
にお出かけ。パイロットに
なったり、飛行機つくったり、
すごくおもしろい。





サイエンスヒルズで宇宙と交信します



★ものづくり技術を通して、
★技術者や研究者になる夢を描きます

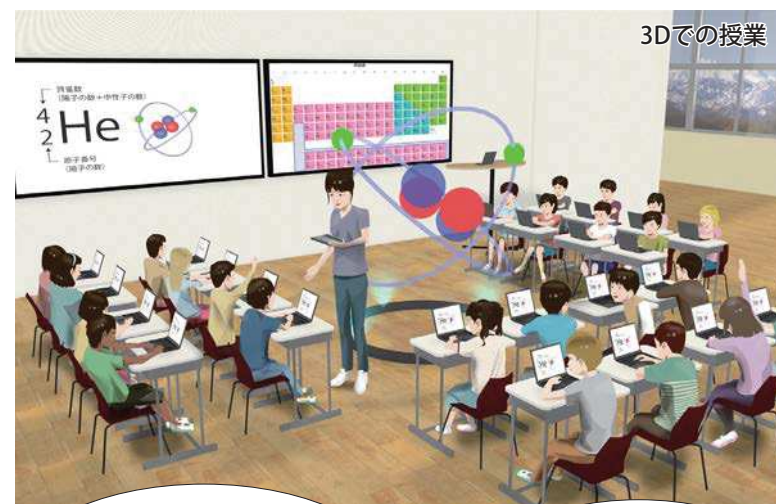


みんな乗りものに夢中

- 個性を伸ばし、高い独創力を身に付けた子どもたちが、将来、世界で輝きます。
- サイエンスヒルズは、大学や宇宙航空研究開発機関、国立天文台と連携し、宇宙をめざす子どもたちを育みます。
- 企業の高い技術と乗りもの。好奇心を高める科学とからくりで、世界中、日本中の子どもたちを惹きつけます。
- サイエンスヒルズは、大学や宇宙航空研究開発機関、国立天文台と連携し、宇宙をめざす子どもたちを育みます。

「世界の子ども科学技術都市」に多くの子どもたちが集います

- 学校の給食は、一流シェフが考えた、地元食材によるメニュー。美味しさはもちろん、食育、発育にも優れ、子どもたちにも親にも大人気です。
- 学校では、芝生のフィールドによる体力づくり、大学や企業とも連携した理科学、国際理解や国際交流、ふるさとの伝統文化など、特色ある教育が充実し、子どもたちは、多くの仲間とともに、学び成長し、協調性や智仁勇の精神も育みます。



3Dでの授業

学校っておもしろい。
ミクロの世界を3Dで体感。
科学って本当に不思議。

タブレットって便利。
分からないことをすぐに調べたり、映像を観たり。

世界とふるさとで活躍する

グローバルな人材と技術が育まれます

○ 幼児教育からはつらつ学習まで、一貫したひとつくりが充実します。

○ 大学教育では、インダストリアル系、メディカル系、インターナショナル系の特色で、海外からの留学生や海外への留学も多く、グローバルに人材を輩出します。

○ 地元企業とも連携し、地域の医療と産業を担う若者が育ちます。

○ エコ生産や健康保健、農林水産業など、時代に必要な知識と技術も身に付けます。



小松駅前キャンパス

○ 大学では、休日や夜間に学習講座が開催され、女性やシニアなど、沢山の市民が訪れ、地域に身近な「人材育成拠点」となります。

○ 農業体験などのインターンシップを通して、学生たちも仕事とふるさとに共感します。

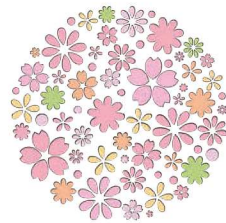


企業自体がものづくりのキャンパスに

国際舞台で躍動する

ふるさとの

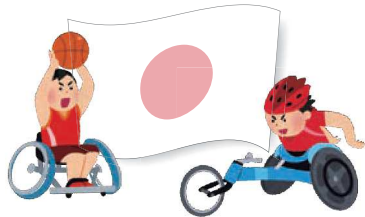
アスリート、アーティストたち



○ 2020年、東京オリンピック・パラリンピック開幕。医科学トレーニングで心身を鍛え、技を磨いたふるさとのアスリートたちが、日本代表として躍動し、その姿に子どもたちは熱狂します。

○ 末広スポーツパークは、スポーツ集積ゾーンとして機能を高め、数多く交流大会や合宿も開催されます。

○ 次の日本代表をめざし、子どもたちが挑戦した汗と感動の涙を流します。



芦城公園周辺は感性豊かな「アートの杜」に

○ 芦城公園は、音楽、芸術の感性とセンスを高める空間に。

○ 海外との文化交流も盛ん。才能を開花させたアーティストたちが世界に羽ばたき輝きます。

○ 国際的なスポーツ大会やアート展が開催。トップアスリート、トップアーティストの技術やセンスを学び、子どもたちや若者が夢を描きます。



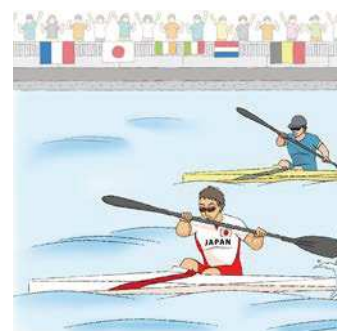
**まちの総合力の源は、市民力と地域の絆。
オールこまつの「共創」でまちが成長し、
ふるさとを未来へつなぎます**

○住む人、訪れる人、全ての人びとと、地域や企業、学校、団体など、みんな一緒に、ふるさとこまつに恋し、ふるさとこまつを愛し、支え合い、高め合いながら、ふるさとを共に創ります。

○そして、老若男女、私もあなたも、みんなはつらつ、笑顔いっぱい、のふるさとを未来に引き継ぎます。



地域の拠点「はつらつ学習センター」



**地域でも学び、
地域コミュニティの
活力が高まります**

○子どもからシニア、外国人家族も集まり、市民交流と市民学習が活性化し、絆が強まります。

○ライフステージや夢に応じた学びの機会と機能が充実し、まちの活力を高めます。



10年後の素敵なこまつをめざして

まずは、行財政改革。たくましい財政、市民から信頼される市役所へ

財政の健全化は、次世代への大切な約束

○市債残高の減少を継続実施し、

1000億円の大台を切ります

○民間へのシフトを進め、市の職員（消防職・医療職・教員を除く）をさらに10%以上減らし、520人にします

市の持続と成長をリード。

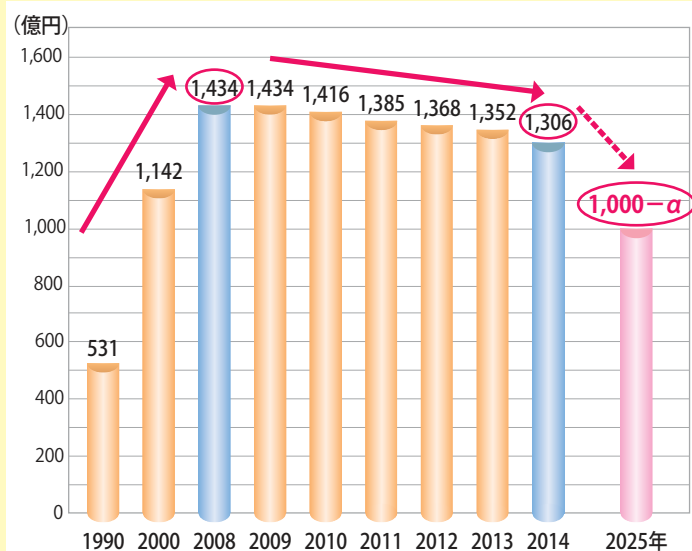
そして、皆さんに身近な市役所へ

○職員は知識と技量をレベルアップし、各分野の専門家集団に

○機動的で身近な組織に変わります

○民間の経営感覚で常に仕事を改革し続けます

市債残高の推移



これからは、広域化が鍵。連携した取り組みを広げ進めます

行政だけでなく、民間レベルの広域連携を加速

NEXTビジョンの主な目標値

日本の人口減少と超長寿化は

世界に類を見ない速さで進展します

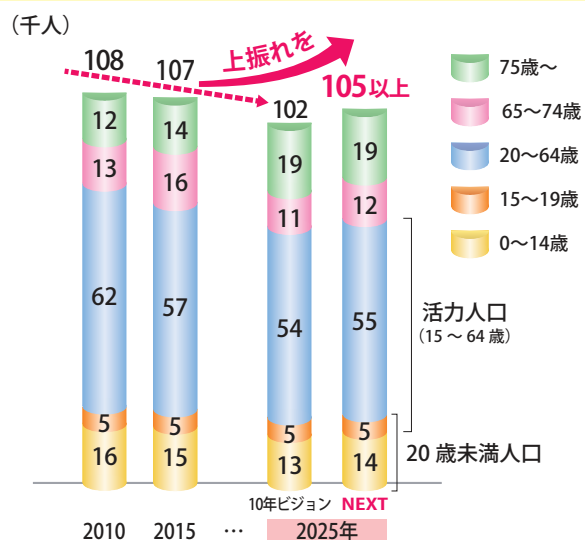
○介護や医療などのコスト、税金など様々な分野での影響も予想されます

○そんななか、こまつの持続的な成長と市民の皆さん一人ひとりの満足度・幸福度を追求していきます

人口10万5千人以上をめざします

○こまつの成長を引っばる活力人口は6万人以上、未来創りの大きな力となる20歳未満人口は2万人キープへ

人口の目標



チャレンジ2025

代用特性

9つの
目標数値



ようこそ小松プラス5000

こまつへの転入者5000人へ(2014年/3199人)

⇒新たな人びとが集う成長のまち

5



笑顔いっぱい子宝1.8

合計特殊出生率1.80へ(2012年/1.69)

⇒こどもたちの笑い声と夢があふれる

6



いきいきシニア75%

75歳以上で介護認定を受けていない人の割合75%
(2014年/66%)

⇒健康長寿の模範都市

7



スマートリサイクル33%

リサイクル率33%で全体の1/3に(2014年/19%)

⇒エコライフでスマートシティ

8



住みよさランクTOP10

住みよさランキング10位以内へ
(2015年:29位/全国813市区中)

⇒家族みんながこちよい

9

○3つ➤4つのまちづくりコンセプト

こまつは日本一「おもしろい」「たくましい」「こちよい」まち
「はつらつ」としたひととまち

○4つ➤5つのまちのブランド力アップのテーマ

「歌舞伎のまち」「科学とひとづくり」「乗りもののまち」「環境王国こまつ」
「Gem & Story of Stone ~ジェムと石の物語~」

でチャレンジ!



ものづくり産業力20%UP

製造品出荷額等7000億円へ(2013年/5653億円)

うち6次産業300億円(2013年/82億円)

⇒バランスのとれたたくましいものづくり

1



グローバルチャレンジ50000

外国人の宿泊者数50000人へ(2014年/5216人)

⇒世界とつながる国際都市

2



おもてなしゲット700万人

交流人口700万人へ(2014年/380万人)

⇒アクセスと地域資源を活かした交流拡大

3



将来負担を軽減、1000億円-α

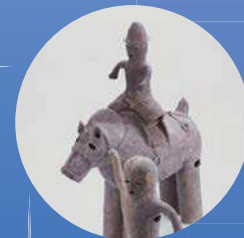
市債残高1000億円未満へ圧縮(2014年/1306億円)

⇒次世代への大切な約束です

4

古代中世の南加賀は歴史の交差点

- ◆ 2万年前の後期旧石器時代の八里向山遺跡から出土したナイフ形石器
- ◆ 北陸を代表する弥生時代の八日市地方遺跡(重要文化財指定)
- ◆ 南部丘陵地産出の碧玉は、高度な技術で装飾品に加工され、日本各地の王などを魅了
- ◆ 矢田野エジリ古墳から出土の人を乗せた飾り馬と馬飼の埴輪(重要文化財指定)
- ◆ 古代には、北陸地方最大規模の製陶・製鉄地域を形成
- ◆ 律令体制で最後となる「加賀国」が誕生
この地は政治・経済・文化の中心に
- ◆ 中世の動乱の時代、小松を舞台に人の世の無常を描いた物語が誕生



民が育てたまち小松

- ◆ 利常公が殖産興業(加賀絹、小松瓦、畳表など)・農業・物流・文化を振興
そして町衆文化が開花(曳山、お茶、寺社など)
現在のまちの原型がスタート
- ◆ 日用杉を代表に、木材の主産地
現在の木場から、水運を利用して京都の寺院にも利用
- ◆ 北前船(交易、食文化)の海運業で繁栄し、
今は航空輸送で栄える小松空港
- ◆ 鉱山は今は世界でも活躍する機械産業へと進化
- ◆ 先人たちは、知恵と工夫で多くの苦境を乗り越え、
このまちを残してくれました

■問い合わせ

小松市 総合政策部 経営政策課

Komatsu City Strategic Planning Div. Policy Planning Dept.

〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地

TEL 0761-24-8037 FAX 0761-21-0285

E-mail kikaku@city.komatsu.lg.jp

Understanding Our Past to Build a Better Tomorrow 「温故知新」…感謝！そして未来へ！

私たちのまちは、歴史が深く、時代に応じて成長してきた素晴らしいまち

2015年11月策定